

若者の力を信じる 2 ユースエンパワーメント

YMCAには多くの学生をはじめとした若者が集い、自らの成長の場所となっています。プログラムの参加者・専門学校生そしてボランティアとして、様々な体験や出会いの中で人間力を育むチャンスにあふれています。2021年度もそのようなユースに寄り添い、希望ある未来のためにサポートをしました。

専門学校／日本語学校・学習

専門学校生 コロナ対応 介護福祉学科

高齢化社会が進む中、介護の担い手が不足しています。この年度も専門学校の京都校・舞鶴校では介護福祉士を養成し、介護現場に人材を輩出することができました。学生はコロナ禍で現場実習も実施が難しい中、介護現場の職員さんによる校内研修やオンラインでの施設見学等、工夫をしながら学習を積み、卒業することができました。



介護福祉学科卒業式



オンライン施設見学実習



校内研修

留学生の状況／オンライン授業

外国人留学生がコロナによる入国制限を受けて、入学することができない年でした。それでも10月からは海外滞在中のオンライン学生として数名が入学しました。

また、日本語科2年生は課外学習の行動制限を受けながらも、日本語・日本文化を学び、25名が日本の大学・大学院に進学することができました。コロナ前は実施されていた日本人と留学生とのチューター活動も中止となっていましたが、舞鶴校・京都校間の日本人学生と外国人学生がオンラインでチューター活動を再開しました。互いの文化の違いを知る貴重な経験となりました。



日本語科オンライン授業



舞鶴校学生によるオンラインボランティアチューター



日本語科卒業式

DATA

京都YMCA国際福祉専門学校

日本語科	47人
介護福祉学科	31人
78人	

舞鶴YMCA国際福祉専門学校

国際観光ビジネス科	1人
介護福祉学科	29人
30人	

リーダー活動／地域コミュニティ活動（国内・海外）

リーダートレーニング

YMCAには毎年多くの大学生ボランティアが子どもたちのキャンプ活動を担うリーダーとして活躍しています。今年度もサマーキャンプやスキーキャンプのリーダー研修を行っています。特にコロナ感染対策の研修などコロナ禍ならではの講義もあり、知識を深めあい、リーダー間の親睦を図ることができました。



キャンプリーダートレーニング



スキーリーダートレーニング

仁川YMCA オンラインユース交流

コロナ禍でしばらく交流を延期していた海外のパートナーYMCAとの交流会も再開しました。入国制限がある状況からオンラインでの交流会となりましたが、韓国仁川・台湾台中と台南、そして京都の各YMCAに連なる若者がそれぞれテーマを設けてプレゼンビデオを作成し、オンラインにて発表し合いながら討論する交流会でした。しばらく閉鎖された社会でありましたが、共にアジアに住む隣人としての絆が生まれ、次世代の若者交流として異議深いものとなりました。



DATA

野外活動 ボランティア

	学生	社会人
日常野外活動		2人
冬季・春季	42人	2人
	42人	4人

サポートプログラム ボランティア

	学生	社会人
小学生プログラム		
中高生プログラム	8人	0人
	8人	0人

健やかな生活を支える

3 生活クオリティの向上

YMCAは、高齢化社会に対応する事業や活動にも注力しています。健康寿命の延伸や知的好奇心の追求、社会とつながる機会を提供し、いきいきとした健やかな生活を支えます。YMCAは、その人らしく生きることでQOL (Quality of Life) の向上に貢献します。

成人ウエルネス

成人スイミング

早朝、午前、夜間の3つの時間帯でフリースイミングとフィットネスマシンを利用して、日々の健康維持と体力増進を目的に293名の方にご利用いただきました。293名のうち65歳以上の方が50%を占めています。特にコロナ禍の影響で、身体を動かす機会を求めてお越しいただく方が増え、毎日のようにご利用くださる方が多くなりました。会員の方々の運動の機会を提供する事の大切さを日々感じています。



アクア（水中運動）プログラム

高齢者いきいき筋力トレーニング

高齢者の介護予防の一環として行う京都市からの受託事業と、その内容を更に発展させたYMCAプログラム合わせて11クラスを実施しました。コロナ禍の影響で定員を減らして行いましたが、参加された皆さんは元気いっぱいに身体を動かし、日々の健康維持増進に努められていました。



リトリートセンター さくらフェスタ／オータムフェスタ

さくらフェスタは、新型コロナウィルス感染症のため、中止となりました。オータムフェスタはワイスメンズクラブ京都部の各クラブで実行委員会を組織して、企画、新型コロナウィルス感染症対策を検討し、ビニールカーテン・CO2センターの導入など感染対策を各クラブよりいただいた運営協力金を活用して実施しました。当日は好天に恵まれ、12のクラブに食事提供に協力いただき、280名の来場者を迎えて、豊かな自然の中で交流するひとときを持つことができました。



DATA

成人スイミング、いきいき筋力トレーニング

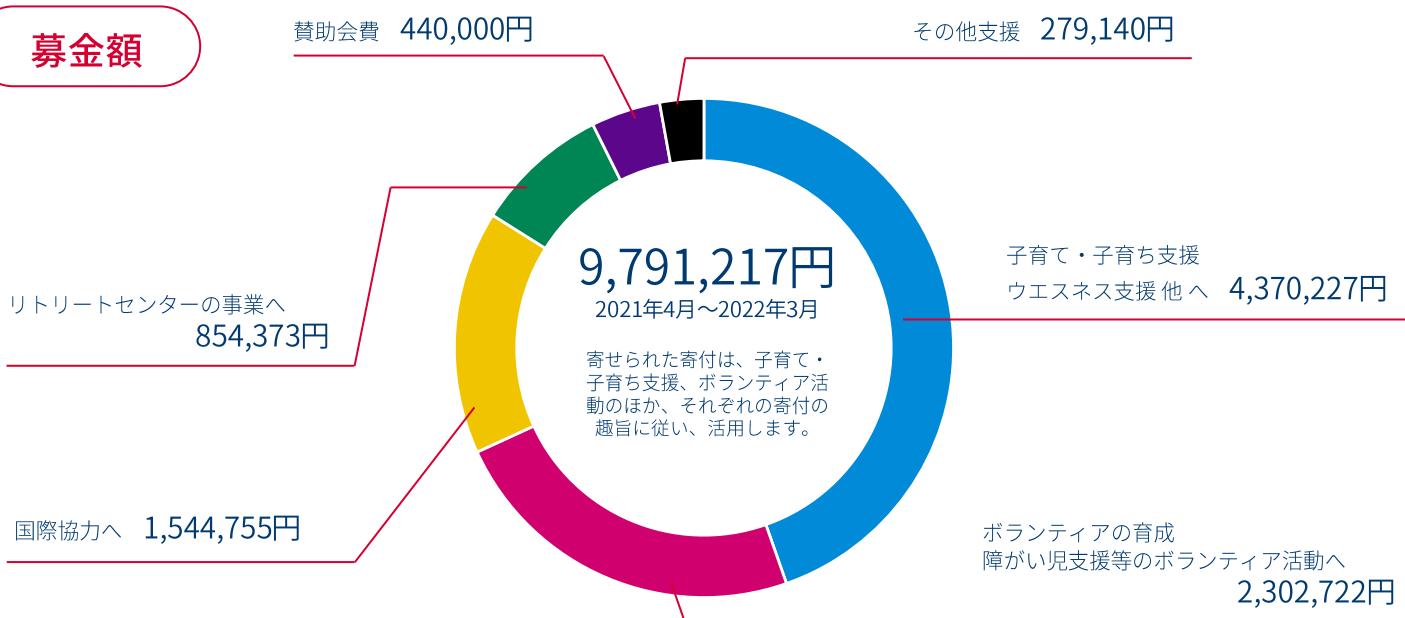
成人スイミング	293人
いきいき筋トレ延数（京都市委託事業）	716人
いきいき筋トレ延数（YMCA独自事業）	275人
1,284人	

リトリートセンタ一年間利用者数

宿泊者数	683人
日帰り利用者	1,796人
	2,479人

4 寄付金報告

募金額



チャリティーイベント

Amazon「みんなで応援」プログラム

Amazonによる社会貢献活動「みんなで応援」プログラムは、Amazonの「ほしいものリスト」を活用したチャリティキャンペーンです。日本YMCA同盟を通して全国23YMCAにおいてこのキャンペーンに参画し、京都YMCAにも多くの支援物資を寄付いただきました。



Amazon「みんなで応援」プログラム
物品支援（一部）
・イーゼルラック・折り紙・水性絵具・色鉛筆・絵筆・トランポリン ほか

チャリティーゴルフ大会

2021年度で4回目を迎えたチャリティーゴルフ大会。ワイズメンズクラブ・外部からの参加を合わせて、70名が参加しました。クラブ別対抗では、京都トップスワイズメンズクラブが見事優勝。大会で集まった寄付金は、ポジティブネット募金として、青少年育成・地域奉仕活動・子育て支援等に活用されます。

寄贈／大口寄付 感謝

寄贈

- 【保育】
 - ・室内大型遊具
 - ・木製三輪車、二輪車
 - ・食材提供
(園児60名分カレーライス用、焼き肉用)
 - ・お絵かき用コピー用紙2,000枚
 - ・収納棚制作、設置
- 【専門学校】
 - ・日本語学科卒業アルバム制作
 - ・介護福祉学科卒業記念品（購入費用）
- 【事業部】
 - ・宝くじ協会テント（購入費用助成）
 - ・野外活動用一人用テント（購入費用）
 - ・リトリートセンターキャビン建設寄贈

大口寄付（20万円以上）

- 酒井文枝様
公益活動寄付金へ200,000円
- 杉井恭敏様
公益活動寄付金へ200,000円
- ワイズメンズクラブ京都部様
リトリートセンターへ204,490円
- ポジティブネット募金へ222,600円

- 京都ワイズメンズクラブ様
テント購入支援へ508,200円
- 一般財団法人G-Place財団様
ランチYMCAへ250,000円
- 京都橘ライオンズクラブ様
青少年育成のために1,000,000円